

リオ州の治安情報第31号

ボタフォゴ駅前で発砲事件が発生

リオ州軍警察本部によれば、6月10日（水）午前中、リオ市地下鉄ボタフォゴ駅前で発砲事件が発生し、近くにいた女性一名が負傷しました。

1 事件概要

- (1) 州軍警察本部によれば、6月10日（水）午前10時30分頃、地下鉄ボタフォゴ(Botafogo)駅前のネルソン・マンデラ(Nelson Mandela)通りとサン・クレメンテ(Sao Clemente)通りの交差点付近で、けん銃を所持した2人組が近くを歩いていた男性1名から財布を強奪。
- (2) 犯行現場を目撃した別の青年（警察官の息子と自称）が財布を取り戻そうと、犯人らに近づいたところ、犯人の一人が青年に向けて発砲。
- (3) 弾丸は青年に当たらず、近くの薬局に入ろうとしていた23歳の女性の足に命中し、犯人2名はそのまま徒歩で逃走。
- (4) 女性は入ろうとしていた薬局に助けを求め、救急車で近くの病院に搬送。
- (5) 軍警察本部では、現場付近監視カメラの映像の解析を進めている。

2 軍警察の対応

ボタフォゴ駅周辺には邦人企業が複数所在し、多くの邦人が通勤のため同駅を利用しています。当館から管轄する第二軍警察本部に対して警備強化を依頼したところ、同警察本部は以下の通り具体的な警備強化プランを示しています。

- 15:00～19:00（毎日）ボタフォゴ駅前にパトカーを常駐
- 7:00～翌01:00（毎日）ボタフォゴ駅周辺を警察官が徒歩で巡回
- その他ボタフォゴ地区の警備強化
 - ・ ボタフォゴ・ショッピング前に移動交番（ワゴン車）を設置（近辺のパトカーと警察官の動きを把握するなど通信司令室的な役割を担う）。
 - ・ ボタフォゴ海岸道路全域及びサン・クレメント通りの徒歩警ら強化。
 - ・ ファラーニ通りとピニェロマシャード通りの間（アルゼンチンビル裏側）に警察官（パトカー）を常駐。

【強盗に遭遇したら】

万が一、強盗に遭遇してしまった場合は以下の点に留意して下さい。

- 決して抵抗せず、相手の要求に素直に従う
- 慌てず騒がず、冷静に対応する
- 急な動作をしない。
- 相手の顔を直視しない（顔を覚えられたと受け止められる）